科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	社会心理学 Social Psychology			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　永田　素彦		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	水1	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

「社会心理」学は、２つの特徴をもつ。１つは、個人の心や行動ではなく、集合体の全体的性質やその動きについての学問分野であること。もう１つは、対象の客観的・普遍的な性質を明らかする実証的研究スタンスではなく、研究者と当事者の協同的実践を通じて新たな理解や行為を生成していく、人間科学の研究スタンスをとること。

本講義では、「社会心理」学の理論、方法論、人間科学のメタ理論（社会構成主義）を詳しく説明するとともに、実践的な研究例をいくつかのテーマに沿って紹介する。

[到達目標]

・社会心理学の基本的な考え方、理論、研究スタンスを理解する。

[授業計画と内容]

１．イントロダクション：「社会心理」学とは
２．伝統的個人観のゆきづまり：個人主義的自己観のかかえる理論的・社会的問題を説明する。
３．集合性とは：社会心理学の基本概念である集合体と集合性について概説する。
４～５．物理的集合性：心（に由来するとみなされている現象）が、道具や環境に媒介されて成立していることを、活動理論を中心に説明する。
６～７．意味的集合性：規範や意味をつくる集合体の動き（コミュニケーション）について、規範理論を中心に説明する。
８．ナラティヴと自己：ナラティヴを通した自己・アイデンティティの構成について概説する。
９．社会心理学の研究スタンス：（自然科学に対して）人間科学とそのメタ理論である社会構成主義について概説する。
１０～１４．社会心理学の実践研究：いくつかのテーマ別に、社会心理学の実践研究の具体例を紹介する。取り上げるテーマは次の通り。

・相互理解を促す実践
・セラピー実践
・組織・コミュニティの活性化

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

学期末試験により評価する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
ケネス・ガーゲン 『あなたへの社会構成主義』（ナカニシヤ出版）ISBN:4-88848-915-7

社会心理学(2)へ続く↓↓↓

社会心理学(2)

杉万俊夫 『グループ・ダイナミックス入門』（世界思想社）
ケネス・ガーゲン 『社会構成主義の理論と実践』（ナカニシヤ出版）ISBN:4-88848-864-9

[授業外学修（予習・復習）等]

・授業中に提示する参考書を、興味と必要性に応じて、予習・復習に利用してください。

[その他（オフィスアワー等）]